

報道機関各位

長岡発スタートアップが
国家プロジェクトに採択！

長岡市商工部産業イノベーション課長



長岡市

研究とビジネスとの出会いが未来を動かす！

Boost DeepTech NAGAOKA! 初開催

このたび、長岡技術科学大学発スタートアップ企業である株式会社パンタレイが国家プロジェクト事業に採択されました。そこで、佐藤氏自ら学生時代からプロジェクト採択に至るまでの軌跡を振り返る講演とともに、研究者と起業家・ビジネス人材の対話を通して技術の社会実装の可能性を探るワークショップを行います。

このイベントを通して、長岡の起業家育成環境や支援施策についての理解を図り、さらなる長岡発スタートアップの誕生を促進したいと考えています。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

Boost DeepTech(ブースト ディープテック) NAGAOKA!

1 日 時 7月11日(金) 午後1時～4時

2 会 場 米百俵プレイス ミライエ長岡 5階 (長岡市大手通2-3-10)
第1部 ミライエステップ 第2部 スタジオA・B

3 主 催 長岡市、NaDeC 構想推進コンソーシアム、新潟県

4 内 容

第1部(午後1時～1時30分) 講演「長岡からのスタートアップエコシステム」

講師：株式会社パンタレイ 代表取締役 佐藤靖徳氏

佐藤氏の大学院での起業意識の芽生えから、国家プロジェクト「ムーンショット型研究開発事業(20億円規模)*」採択までの道のりを振り返ります。

長岡市の支援、GAP ファンド、新潟県のアクセラレーション、NEDO や環境省の事業を経て今回の採択に至るまでの流れを紹介します。

第2部(午後2時～4時) 研究者とビジネス人材ワークショップ

大学・高専の研究者と起業家・ビジネス人材が少人数で対話し、社会実装への新たな視点を発見する体験型セッション。

5 参加者 約50人(大学・高専の研究者、学生、起業家、企業経営者・新規事業担当、行政関係者など)

※ムーンショット型研究開発事業

「ムーンショット」とは、かつて人類が月面着陸を成し遂げたように、常識を超えた挑戦を意味します。

内閣府は、2050年を見据えた未来社会の実現に向けて、10の目標掲げる「ムーンショット型研究開発制度」を推進しています。この制度は、既存技術の延長では解決できない社会課題に対し、大胆な発想と多様な連携による研究開発を促す国家プロジェクトであり、約4,000億円規模の基金事業として最大10年にわたる長期支援を行います。

この制度は非常に競争率が高く(採択率10%以下)、採択には技術だけでなく、実装に向けたビジョン、実現可能性の高い産学連携体制、社会インパクトの明確さについて、総合的な観点で重視されます。

問い合わせ：産業イノベーション課 門脇

TEL 0258-39-2402

Boost Deep Tech NAGAOKA!



研究とビジネスとの出会いが未来を動かす！
長岡発スタートアップ企業の“パンタレイ”が
20億円の国家事業を獲得した軌跡と
地方×大学×起業家×企業が
共に学び合う挑戦のストーリー創り



お申込は
こちら



※1部は講演会形式、2部はセミナー＆参加希望者による
ワークショップ（見学可）となります。
都度の開会・閉会を予定しておりますので1部のみの参加も可能です。
ワークショップにつきましては定員に限りがありますので
お早めにお申込みください。

2025 **7/11** 金

会 場 ミライエ長岡

OPEN 12:30~

START 13:00~16:00

参加費
無料

対象者 大学・高専の研究者、学生、起業家、民間経営者、新規事業担当者、行政関係者等

第1部

長岡からのスタートアップエコシステム

13:00~13:50

長岡技術科学大学発スタートアップ「株式会社パンタレイ」の軌跡を代表取締役 佐藤靖徳の学生時代から20億円級の国家事業ムーンショット型研究開発事業採択に至るまでを振り返り、長岡市の様々な支援施策の活用から国家プロジェクトまで繋がったスタートアップエコシステムを紹介致します。またこれまでに大学との連携、地方自治体や民間との連携で活用した支援施策の具体例を紹介します。

定員
50名

第2部

研究者とビジネス人材ワークショップ

14:00~16:00

起業家のテーマでもある技術の社会実装（技術産業化・産学連携）の基礎を学ぶショートセミナーを実施。その後に研究者とビジネス人材が様々な知見や経験を交えながら対話し、技術の社会実装の可能性を探るワークショップを開催致します。

Business Academia Gatherings!(BAGS!)

～“視点をバグらせる”研究者とビジネス人材の出会いがここにある。～

「BAGS!」は、研究開発型スタートアップ支援人材（NEDO SSA アソシエイト）第8期の有志メンバーによって開発された、ちょっと風変わりなワークショップです。目指すのは、“未来を共に描くワクワク感”。その出発点となる、「なんだか面白そう」「もっと話してみたい」と思える、“未来を共にするかもしれない友人”と出会う場を提供します。



1994年生 31歳。2021年に長岡技術科学大学発ベンチャー企業として創立。流体力学・レオロジーの知見を活かした全く新しい概念の風力発電機を開発し国内外の注目を集めている。長岡市の育成システムや支援を受け、NEDOを始め数々の研究支援を獲得し現在に至る。

経歴

2021年 長岡技術科学大学にて博士（工学）取得
2018年 Stanford 大学留学
2015年 インド工科大学マドラス校留学

ムーンショット型

研究開発制度

とは？

01

(株)パンタレイが獲得した 総額20億円「ムーンショット型研究開発制度」とは？

「ムーンショット」とは、かつて人類が月面着陸を成し遂げたように、常識を超えた挑戦を意味します。

日本政府（内閣府）は、2050年を見据えた未来社会の実現に向けて、10の壮大な目標を掲げる「ムーンショット型研究開発制度」を推進しています。この制度は、既存技術の延長では解決できない社会課題に対し、大胆な発想と多様な連携による研究開発を促す国家プロジェクトです。最大10年にわたる長期支援が可能で、国家予算約 4,000 億円規模の基金事業として展開されています。

02

採択は狭き門！
“研究力”だけでは
突破できない制度とは？

この制度は非常に競争率が高く（採択率 10% 以下）、たとえば今回採択された NEDO による「目標 4（資源循環・環境再生）」の 2024 年度公募では、採択は 1 件という狭き門でした。

採択には、単に技術的な優秀さだけでなく、下記のような総合的な観点が重視されます。

- ▶ 実装に向けたビジョン
- ▶ 実現可能性の高い産学連携体制
- ▶ 社会インパクトの明確さ

03

地方発 スタートアップの快挙

こうした中、長岡市を拠点とするスタートアップ「パンタレイ」が、地域・大学・企業等と連携しながら挑んだプロジェクトが、目標 4 に採択（約 20 億円規模）されました。

これは、地方からの挑戦でありながらも、研究・企業・自治体支援が一体となった共創によって初めて実現した貴重な成功事例です。

04

研究の社会実装は“共に挑む”プロジェクト

研究成果や技術の社会実装は、研究者だけのものではありません。

むしろ、企業・起業家・地域プレイヤーと研究者が手を取り合い、社会実装を目指すプロジェクトです。